

審査委員長に聞いた  
感想と設計者への期待



足利工業大学教授  
和田幸信さん

今回の設計提案では審査過程において幅広く町民への公開が行われ、5作品が町民に公開されて模擬投票が行われました。さらに最終審査でも2作品についてのプレゼンテーションと審査委員による質疑応答が、町民も立ち会いのものに行われました。公開の際には多くの町民が参加しており、町民の長年の夢であった公民館への関心の高さが表されています。このような町民の期待のもと、最優秀提案者を選定することができ、審査委員長としてほっとしている

というのが正直な感想です。最優秀提案者の案は、設計者が建設予定地を何度も訪れて検討しているだけでなく、邑楽町で行われる各種の行事やイベントも調べており、邑楽町にふさわしい公民館を造りたいという意図が強く感じられます。またホールや公民館の内部の諸室の利用だけでなく、屋外で行われる活動にも配慮されているなど、今後の邑楽町における青少年教育や生涯学習など幅広い年齢層の活動に役立つと思います。

9月	8月	7月	6月	5月	4月	平成26年
審査の結果、5社中2社を最終審査に進ませることを決定	設計提案書の提出締め切り 4社が辞退、5社が提出	第1回設計提案審査委員会 設計者選定基準の決定、選定競技の進め方の確認など	設計提案審査委員会設置要綱と設計者選定競技実施要綱公布 6月4日付で告示(平成26年邑楽町要綱第27号、第28号)	実績調査提出締め切り 依頼した71社中47社が提出	町登録設計業者へ実績調査の提出依頼書送付 町登録設計業者数235社中、次の要件を満たす71社に送付	町登録設計業者へ実績調査の提出依頼書送付
平成29年 11月 供用開始	平成28年 3月 実施設計業務完了	平成27年 3月 基本設計業務完了	平成27年 9月 公開プレゼンテーションと最終審査	平成26年 9月 町登録設計業者へ実績調査の提出依頼書送付	平成26年 4月 町登録設計業者へ実績調査の提出依頼書送付	平成26年 4月 町登録設計業者へ実績調査の提出依頼書送付



選定された業者が提案した中央公民館ホールのイメージ図  
※あくまでも提案されたもので、最終設計ではありません。

最優秀設計者  
**(株)日総建**  
の横顔

本社を東京都渋谷区に置き、一級建築士79人を擁する設計事務所。これまで「富山県近代美術館」や「村山市総合文化複合施設」などを設計し、日本建築学会賞や建築業協会賞などに何度も輝いた日本を代表する設計事務所の一つ。

基本設計業務委託契約締結

実施設計業務委託契約締結

着工

完成

Close up I

# 中央公民館建設の設計業者が決定!!

中央公民館の設計提案書の公開プレゼンテーションを行いました  
問合せ先▶役場生涯学習課☎47-5043



選定された業者が提案していた中央公民館の外観イメージ図  
※あくまでも提案されたもので、最終設計ではありません。



↑奥に並ぶ審査委員から鋭い質問が飛ぶ  
↑関心の高さが静かな熱気に変わった会場

町では、9月15日⑨に中央公民館建設設計者選定競技(中央公民館設計プロポーザル)の最終審査を実施し、最優秀の設計者として(株)日総建が選ばれました。

**これまでの経過**

中央公民館設計プロポーザルは、今年4月にスタートしました。今年度、町に登録している設計コンサルタント業者の数は235社。そのうち、一級建築士の数や主な業務内容で選定された71社

に、中央公民館と同じような建物の設計をしたことがあるかどうか、また中央公民館の設計について担当する意思があるかどうかを照会しました。その結果、47社が参加する意思を表明するとともに実績に関する調査を提出しました。

町では、これまでの実績をもとに47社からさらに9社に絞り込んで、設計提案競技への参加と設計提案書の提案を依頼しました。これに際して、設計提案書を提出したのは5社

は、それぞれ提案の魅力と不安点について詳細な検討が行われ、提案としての完成度の高さ、広場など建物外部との関係性への配慮、外観や周囲の景観への配慮などで総合的に優れていると判断された(株)日総建を最優秀提案者と決定しました。建物の配置計画がよく工夫され、シンボリックな大屋根や住民参加を促すシステムを提案した(株)新居千秋都市建築設計は次点となりました。

白熱した最終審査  
—「最適な設計者」が決定—

最終審査の前半は公開で行われました。最終審査に残った2社がそれぞれの提案をプレゼンテーションし、審査委員からの質問に答えました。町民の皆さんの関心の高さを示すように、公開プレゼンテーションには約70人の傍聴者が来場し、会場は静かな熱気に包まれました。

午後から非公開で行われた審査では、それぞれの提案の魅力と不安点について詳細な検討が行われ、提案としての完成度の高さ、広場など建物外部との関係性への配慮、外観や周囲の景観への配慮などで総合的に優れていると判断された(株)日総建を最優秀提案者と決定しました。建物の配置計画がよく工夫され、シンボリックな大屋根や住民参加を促すシステムを提案した(株)新居千秋都市建築設計は次点となりました。

最優秀設計者の  
**決意表明**



(株)日総建 開発設計本部 設計一部長 **藤野 敏幸**さん

今回、中央公民館の設計を担当する総括責任者で(株)日総建開発設計本部設計一部長の藤野敏幸さんは、中央公民館設計にける意気込みを次のように語ってくれました。

このたびは中央公民館建設設計者選定競技の最優秀として選定をしていただき、誠にありがとうございます。特に今回、提案書の公開による模擬投票や公開プレゼンテーションなど、町民参加型の設計競技において、町民の皆さまの熱意や関心の高さを感ずる中、選んでいただいたことを大変光栄に思っています。

公開プレゼンテーションでは、中央公民館建設における計画のポイントとして「一体感の醸成、活動スペースの充実、立地を生かす施設計画、維持管理の負荷軽減」を軸にご説明させて

いただきました。今後はワークショップなどを通じて、さらに町民の皆さまのご意見をお聞きしながら、地域に根付き、長く愛される施設の計画を進めていきます。

また、行政サービスを象徴する半円形の街区、最後のピースとなる計画として、これまで築かれてきた周辺環境と親しみやすい景観、イベント時の利用など、邑楽町らしさの溢れる特長を踏まえ、より良くするまで、これからのまちづくりに寄与する中央公民館の実現を目指したいと考えています。